

新しい生活様式におけるICTを活用した
人とまちのつながりネットワーク
構築連携協定について



令和2年9月24日

瀬戸旭医師会・瀬戸市
株式会社インターネットイニシアティブ

【会社紹介】株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ）



インターネットを真の社会インフラに。

ネットワークの持つ巨大な可能性を切り拓きます。

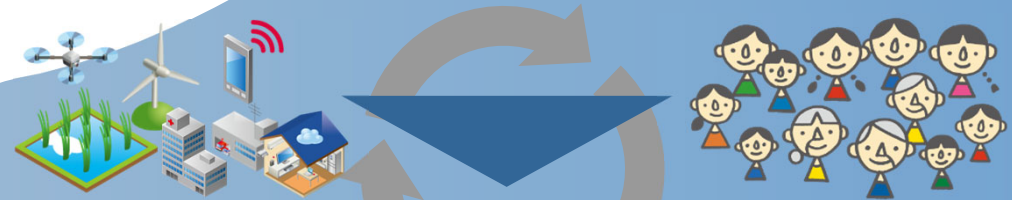
IIJの強みと持続可能な取り組み



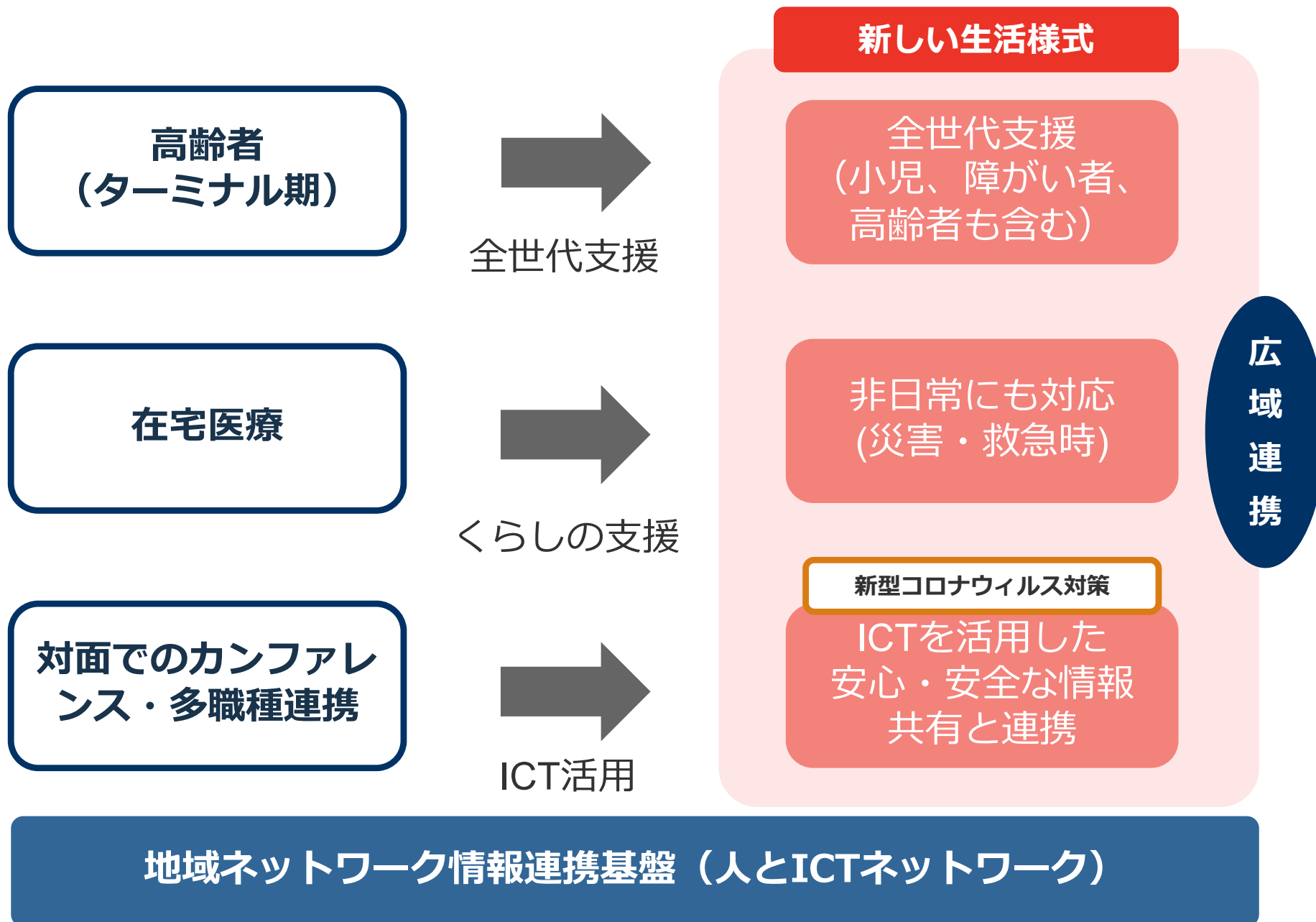
環境配慮 Earth/Global	省電力データセンターの開発によるCO2排出量の削減を推進 グローバルネットワーク独自に構築し、国内外の安定したサービス環境を提供
基礎技術 Region	様々な災害や障害を想定し構築された、強靱なネットワーク IoT/5G技術をリードし、セキュリティを考慮したコスト最適なICT環境の提供
応用展開 Local	オープンイノベーションや産官学連携推進 医療、金融、農業などイノベーションを求める産業領域への事業開発と技術開発

国内初の
インターネット接続事業
業界シェアNo1の
サービス開発力と運用力

各業界トップ10企業/組織
への高い導入率
(サービス浸透率)

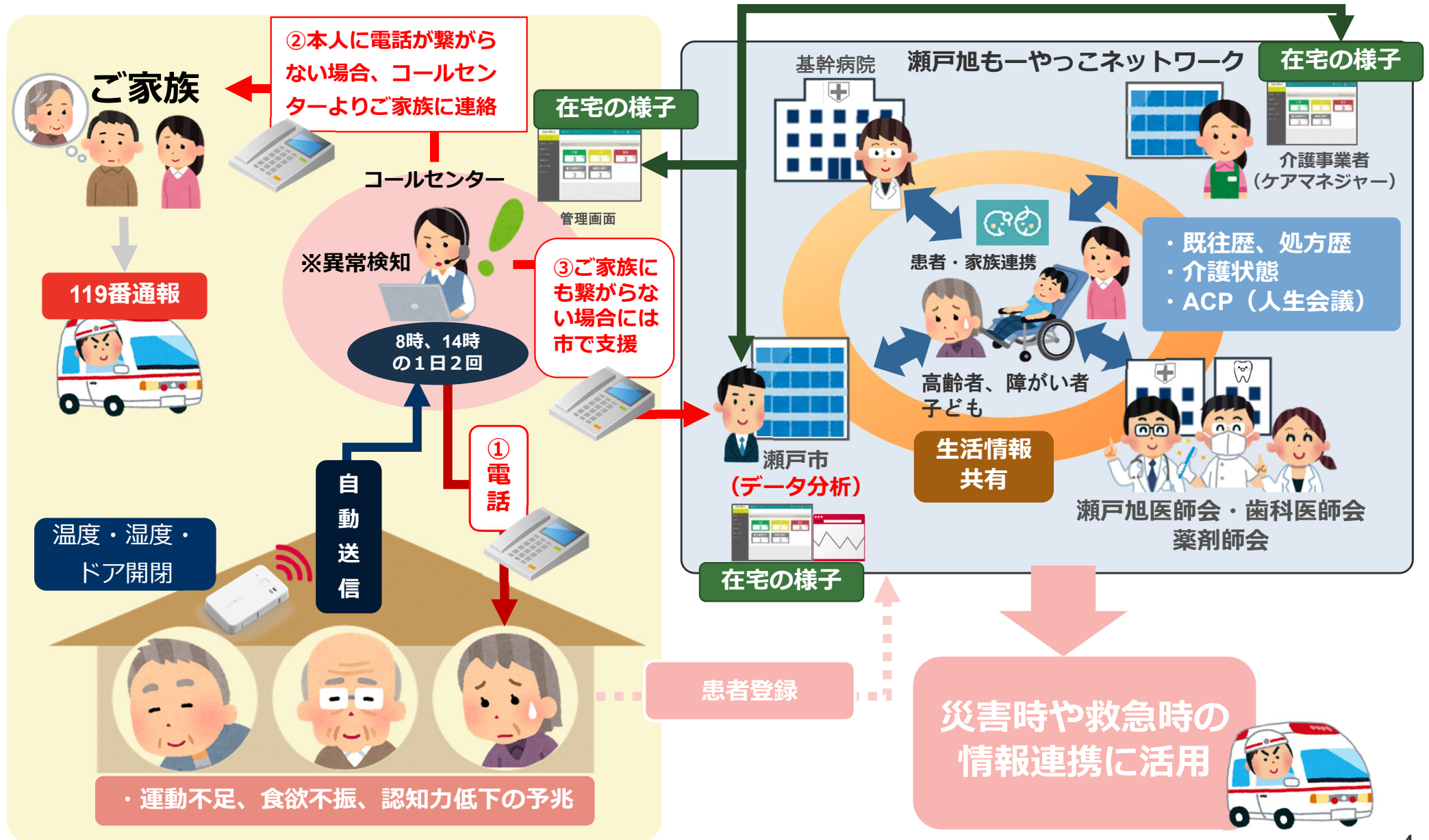


インターネット事業を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献します。



生活情報を連携した「在宅医療介護連携事業」の推進

「高齢者サポート」と「瀬戸旭もーやっこネットワーク」との連携



瀬戸市「もーやっこサポート」事業

ひとり暮らし高齢者宅

「もーやっこサポート」加入で安心



ご家族

(瀬戸市外)



necolico

センサー提供：合同会社ネコリコ
合同会社ネコリコは、中部電力とIIJの合併会社です。

温度・湿度・ドア開閉

月額・税込
980円

もーやっこ
サポート

安否確認・健康寿命延伸

コールセンター

連携

地域包括支援センター



管理画面



管理画面
(ダッシュボード)



- 生活状況の把握
- 支援の必要性の把握

設置場所 (冷蔵庫)



【参考】ステータス一覧画面

ダッシュボード

対象者ステータス

対象者管理

デバイス管理

対象者ステータス一覧

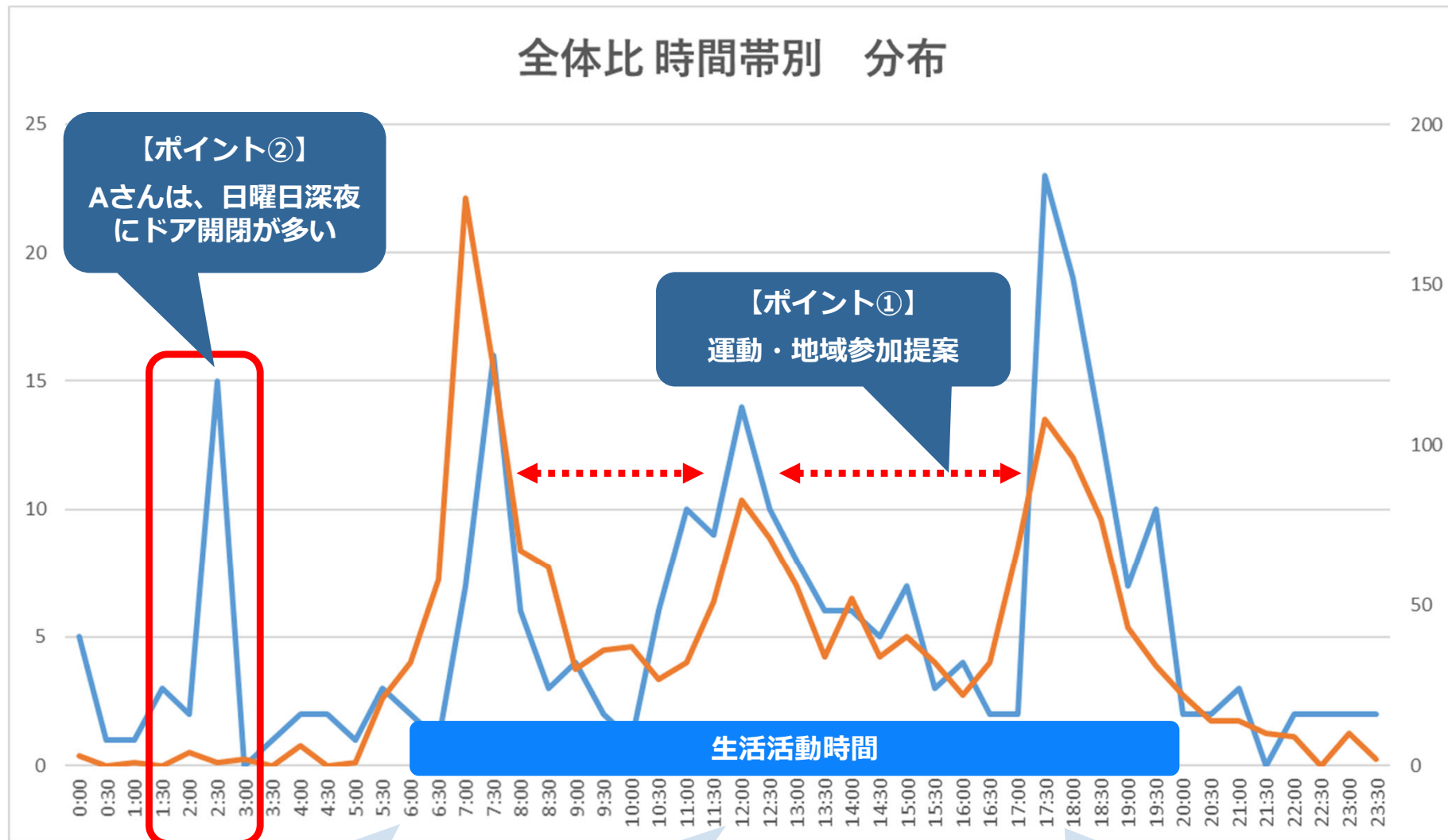
すべて 10件

ステータス	対象者ID	対象者名	経過時間	グループ	検知履歴	対応状況
✕ 異常	2	Aさん	148時間50分	はたやま地域包括支援センタ —		<input type="checkbox"/> 未対応
△ 注意	18	Bさん	35時間30分	地域包括支援センター中央東		
△ 注意	19	Cさん	27時間9分	地域包括支援センター中央東		
✓ 正常	15	Dさん	22時間45分	地域包括支援センター中央東		
✓ 正常	27	Eさん	22時間33分	やすらぎ地域包括支援センタ —		
✓ 正常	7	Fさん	20時間55分	LSA (シルバーハウジング)		
✓ 正常	14	Gさん	20時間34分	地域包括支援センター中央東		
✓ 正常	1	Hさん	19時間0分	はたやま地域包括支援センタ —		
✓ 正常	26	Iさん	12時間22分	やすらぎ地域包括支援センタ —		
✓ 正常	6	Jさん	11時間56分	LSA (シルバーハウジング)		

「みまもりセンサー」から得られた情報のデータ分析例①

対象者Aさんと全体（30世帯）の冷蔵庫ドア開閉を比較

※青色：対象者Aさん（目盛り左）、オレンジ色：30世帯合計（目盛り右）



【ポイント②】
Aさんは、日曜日深夜にドア開閉が多い

【ポイント①】
運動・地域参加提案

生活活動時間

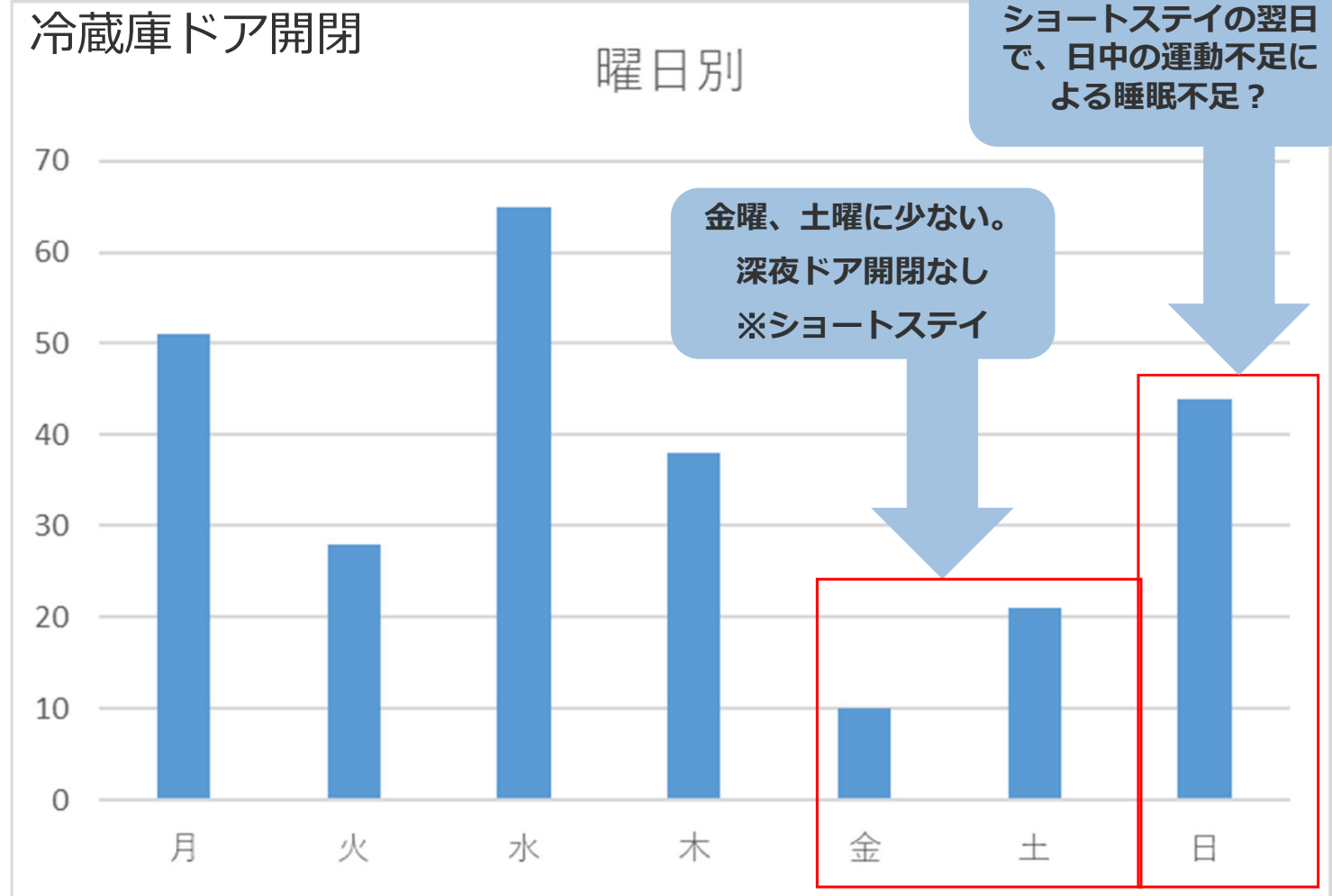
全体傾向として朝は6:30から7:30

昼は12:00

夕方は17:00から18:00

「みまもりセンサー」から得られた情報のデータ分析例②

曜日	回数
月	51
火	28
水	65
木	38
金	10
土	21
日	44



●健康寿命の延伸

- ・「日曜昼間の運動量不足」が夜の睡眠不足につながっていないか。
- ・「医師の問診」で睡眠不足を処方箋で解決していないか。



災害（要支援者）・救急情報連携

災害時支援台帳（障がい者や在宅酸素など避難時に支援が必要な市民情報を含む）を「瀬戸旭もーやっこネットワーク」と連携。

瀬戸市



瀬戸旭もーやっこネットワーク



災害時支援台帳



住民基本台帳
介護保険システム
などの行政情報

情報一括取込機能



台帳情報（患者情報）
の追加／更新

平時の支援チームと
有事のメンバーを
情報連携



災害時連携オプション
救急情報連携オプション



災害時の情報活用モデル

平時から災害発生前後を含めた地域の情報共有を一元対応



「要援護者一覧」画面①



- ・ 要援護者をGoogleMap上に地図表示します。
- ・ 「新しい生活様式」で、「在宅避難」が増加する。

訪問看護師



介護スタッフ



ケアマネ



行政担当者



医師
薬剤師
歯科医師



氏名	年齢	性別	状況
中野 洋子	78歳	女性	(軽度) 独居者。避難の際は助が必...
千代田 テスト子	75歳	女性	(中度) 緊急時 所在確認
新宿 淀橋	81歳	男性	(中度) 有事は区民センターへ自主避難
中野 富士見	81歳	男性	(中度) 避難支援必要
中野 鷺宮	105歳	女性	(中度) 有事の際所在確認
中野 野方	108歳	男性	(軽度) 高齢につき、要声かけ
飯田橋 太郎	70歳	男性	(中度) センターに自主避難だが、高...
患者 次郎	70歳	男性	(中度)

千代田 テスト子さん
75歳 (1945/08/15生) 女性
東京都千代田区富士見2-10-2
000-000-0000
(中度) 有事は区民センターへ自主避難
最終更新: 2020/08/25 13:41
安否情報を送信

地図上で援護者を表示し、
行政・医療介護職で安否確認

赤・青・黄の3色のラベルを
設定可能



個別の避難状況を行政含め多職種に連携

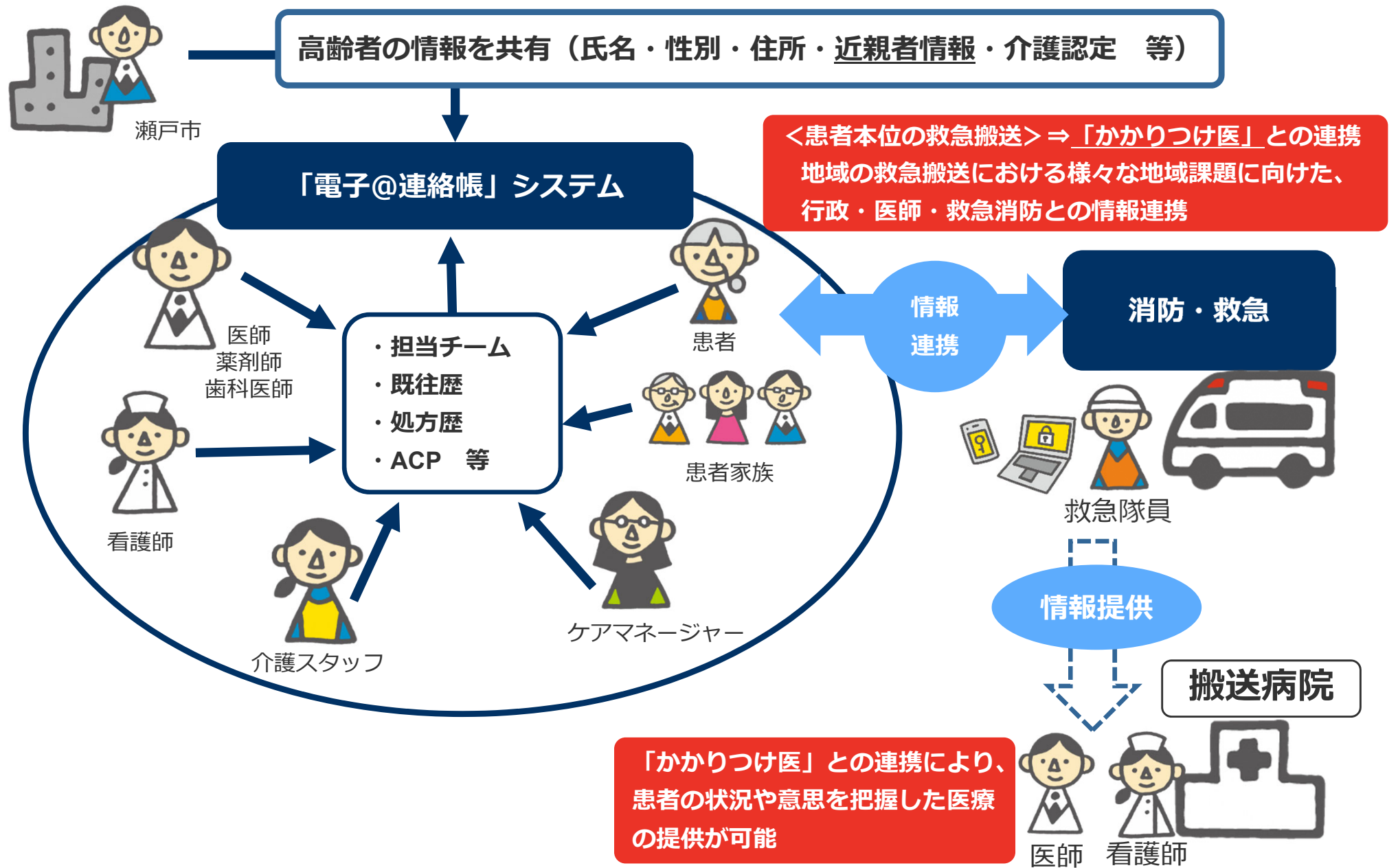


報告

＜安否確認を投稿＞
ケアチーム内で安否情報を共有と
行政への報告



消防救急システム連携



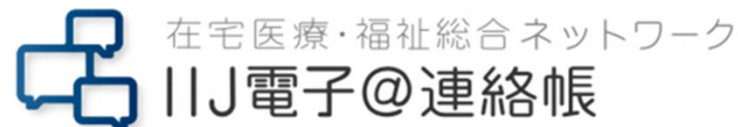


ここの一と(患者・家族連携)小児在宅療育連携

「ここの一と」は患者・家族が在宅での「くらしの記録」を参考情報として、専門職に連携することにより、在宅療養生活の支援を行うネットワークシステムです。

本人(患者)/家族

多職種支援チーム

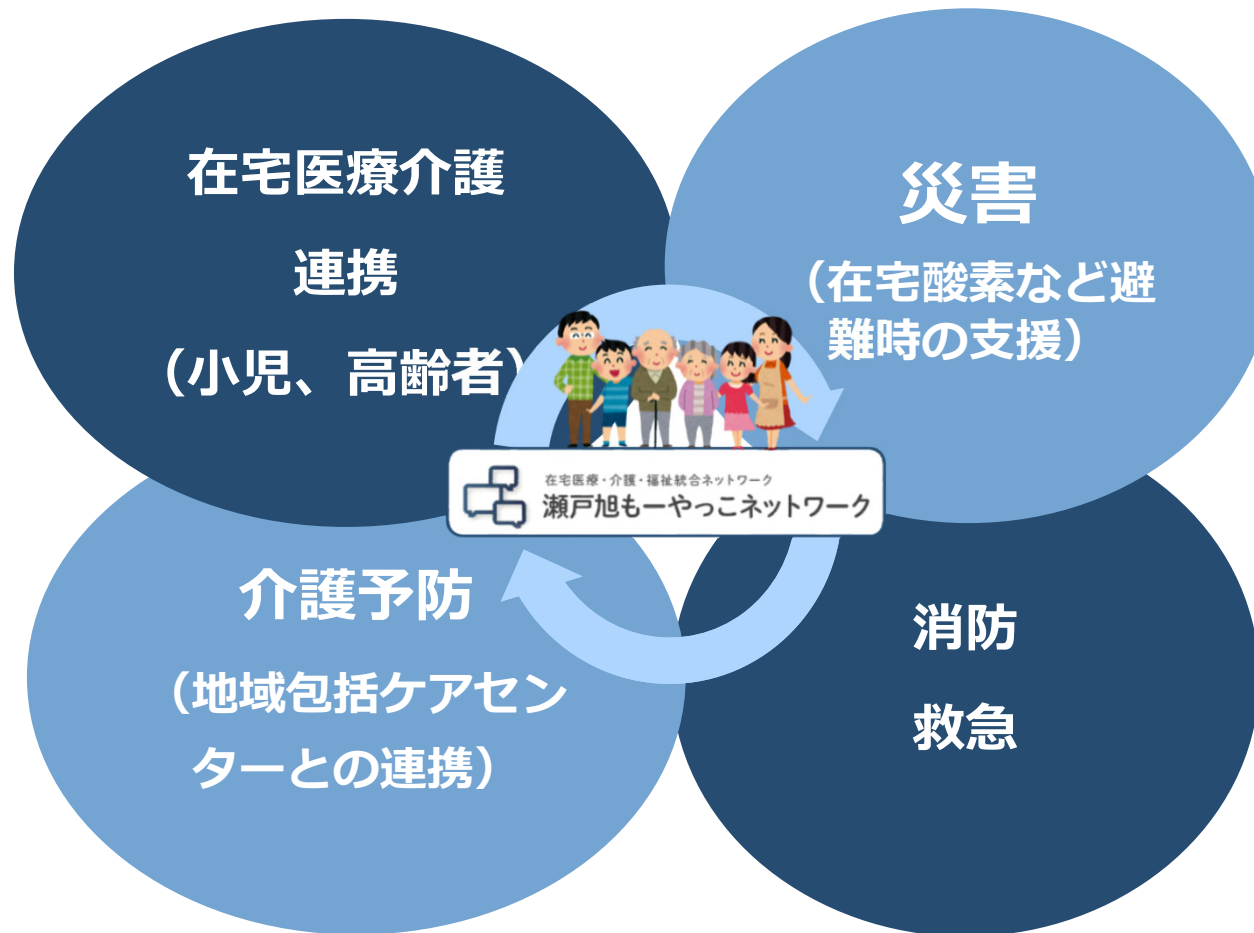


「地域ネットワーク情報連携基盤」構築



人とまちの「つながり」を目的とし、「もーやっこネットワーク」に各種情報を統合する地域ネットワーク情報連携基盤を構築する。

地域ネットワーク情報連携基盤



新しい生活様式におけるICTを活用した 人とまちのつながりネットワーク構築連携協定について

地域課題

新しい生活様式

地域社会との
つながり

災害時の安否確認
救急連携



～住み慣れた瀬戸市で安心して暮らせるために～

ICT
活用

1) 在宅医療介護連携「もーやっこネットワーク」構築※ → 平成25年4月から実施済み

2) みまもりセンサーを利用した高齢者サポート実証 → 令和元年に実証

【今後の事業展開】

3) 新しい生活様式における人とまちのつながり（電子@連絡帳+みまもりセンサー） ↘

4) 災害発生時に避難支援を必要とする住民の事前確認と支援

令和2年度～

5) 「消防救急システム連携」による近親者や「かかりつけ医」との情報連携

※瀬戸市、尾張旭市の医師・看護師・介護関係者など約750名が活用。在宅医療を必要とする患者1,500名のICT情報連携システムとして日常的に利用されている。

連携

株式会社インターネットイニシアティブ

強み

1) ICTを活用した在宅医療介護連携（小児含む）構築と活用事例の提供

2) ICTを活用した市民と地域社会のつながり事業の立案と事例提供

3) 生活情報を活用したデータ分析からの認知症対策事例の提供

4) 災害時・救急連携システムと人生会議（ACP）情報のICT活用との連携基盤の提供

地域包括ケアシステムの構築



在宅医療・福祉総合ネットワーク

IIJ電子@連絡帳 サービス

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。文中では™、®マークは表示していません。本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。